

第 7 回市民参画部会 要点録

日時：平成 29 年 6 月 20 日（火）18：00～20：00

場所：日野市役所 504 会議室

出席委員：小倉委員 東京農工大学名誉教授
濱田委員
井上委員
森川委員
片山委員
篠田委員 東京農工大学
中西委員 樹木・環境ネットワーク協会
岡澤委員 区画整理課
高木委員 緑と清流課
檜山委員 緑と清流課
石黒委員 緑と清流課
藤田委員 緑と清流課
奥野委員 庶務課
大日向委員 生涯学習課
小島委員 健康課

※敬称略

次第

- 1.開会・あいさつ
2. ワークショップの目的等
 - ・市民主体の重点プロジェクトについての説明（資料 1、2）
- 3.ワークショップ
 - (1) 市民が主体となって行う重点プロジェクトについて
 - ・取り組み内容や進め方について検討
 - (2) 発表
 - (3) コメント・まとめ
- 4.その他

配付資料

資料 1：第 7 回市民参画部会ワークショップ 市民主体の重点プロジェクト検討

資料 2：施策体系（案）

ワークショップの概要

検討テーマ

基本方針ごとに、市民主体で実行できる重点プロジェクトを検討する

内容

日野市生物多様性地域戦略の短期目標（2020年）までに実行できる、日野市の生物多様性にとって早急な対応が望まれる取組みや、先導的に行うことが求められる取組みを重点プロジェクトとして位置付ける。

ワークショップでは、基本方針ごとに以下の3班に分かれ、施策体系（案）の具体的な取組みなどを参考に重点プロジェクトの内容、目的、背景や工程などを検討した。

A班 基本方針：人々の関心を高める

B班 基本方針：人と自然の関わりをつくる

C班 基本方針：日野らしい自然を守り育てる

ワークショップの結果

A 班 基本方針：人々の関心を高める

重点プロジェクト 自然に触れる原点の体験（自然と生きものふれあい体験）

目的	20年後に地域戦略策定委員になれるような、自然体験豊かな「日野の野生児」を育てる
内容	身近な自然や生きものに実際に触れ、経験的・感覚的な生物多様性の理解につながるような、自然と生きものふれあい体験などの「原点の体験」を実施します。 【身近な場所での原点の体験】 <ul style="list-style-type: none"> ・雑木林でのカブトムシ探し、維持管理 ・田植えなどの農作業 ・用水や川などの水辺での遊び
連携	自然体験がこれまでにない市民、生きものに興味のなかった市民を取り込むために、さまざまな主体や取組みと連携します。 【主体間の連携】 <ul style="list-style-type: none"> ・イオン ・多摩動物公園（開園前・後の生きもの探しイベント） ・学校、家庭、地域 ・カワセミハウス ・いきもの探し隊 【既存の取組みとの連携】 <ul style="list-style-type: none"> ・既存のウォーキングマップや歴史マップに生きものの視点を入れる ・河川と川の生きもの写真集とのコラボレーション 【教育との連携】 <ul style="list-style-type: none"> ・日野市内の幼・小・中学校で生きもの探しイベントを実施し、義務化も視野に入れる ・教材やカリキュラムづくり ・子育てサークルなどの親子の参加

※その他の意見として、ワークショップのテーマである「市民が主体となつて行う重点プロジェクト」という表現については、実際に市民主導であっても日野市をはじめ、さまざまな関係者により実施体制が組まれることから「市民目線で行う重点プロジェクト」とした方がよい、という意見が出された。

B 班 基本方針：人と自然の関わりをつくる

重点プロジェクト 市民のできる生きもの調査マニュアルの作成

目的	市民の目で広域的に自然や生物多様性を把握する
内容	<p>より多くの人に気軽に生きもの調査に参加してもらうための、子どもでも使える生きもの調査マニュアルを作成します。身近な自然や日野市らしい環境での調査を想定し、里山、用水、河川の生きものを対象とします。</p> <p>【より気軽に調査に参加してもらうための工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五感に訴える きれいな、楽しい、おいしい要素を入れる ・分かりやすい指標や項目 多い、少ない、いない / 減る、増える など ・大人と子供が参加する調査隊の結成 大人を呼ぶために子供を集める ・学校の楽しい行事としての位置づけを目指す 1年生、2年生の生活科の時間を活用して、授業の一環として実施する ・自治会、事業者、子供たちなどの生きもの専門家ではない人が実施できるよう調査項目や標記に配慮する
工程	<p>【1年目】 情報収集、生きもの調査マニュアル・生きもの分布マップの作成</p> <p>【2年目】 プレ調査イベントの実施</p> <p>【3年目】 調査の普及啓発活動</p>

C 班 基本方針：日野らしい自然を守り育てる

重点プロジェクト ちょうの集まるまちづくり

目的	家庭のできる生物多様性保全の取組みを推進する
内容	<p>日野市内の公園に、食草や蜜源植物などのちょうの集まる環境を整備したバタフライガーデン設置します。バタフライガーデンでは市民の力を借りて維持管理作業を実施します。このような生きものの生息環境整備の考え方やちょうの生態について市民の理解や関心を高め、市民の各家庭にも展開することで、家庭のできる生物多様性保全の取組みに発展させます。</p> <p>最終的には、生きものと共生するための緑や自然が新たに創出され、維持されていくことで、日野市の台地、丘陵、低地、河川などの自然環境につながりを持たせることを目指します。</p>